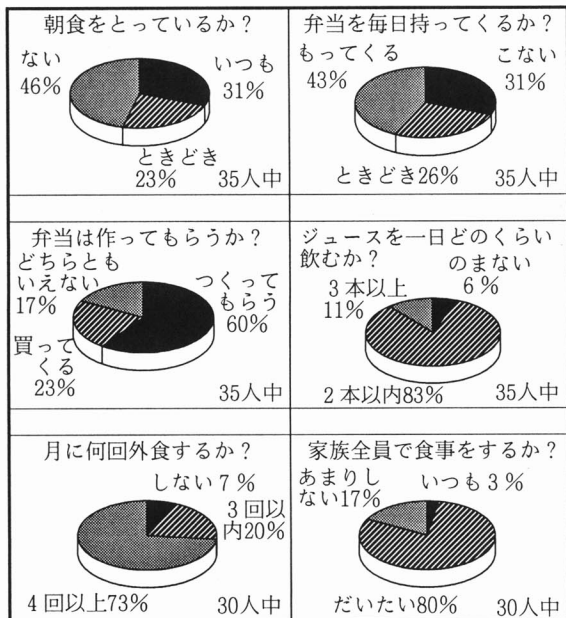


(資料1) 生徒制作STS教材 「個食と孤食」

アンケート



〈設問〉

- ① アンケートを見てどう思いますか。
- ② 外食する人が多くなっているのはなぜだと思いますか。
- ③ 家族全員で食事をする人が少ないのはなぜだと思いますか。
- ④ 「個食」と「孤食」のちがいは何だと思いますか。
- ⑤ 資料より、最近一人で食べていることもが増えていますが、そのためにかかる病気は何だと思えますか。また、それは、なぜおこるのでしょうか。
- ⑥ これらの結果から、日本の「食」の変遷はどうなっていると思えますか。
- ⑦ 食形態が変化していますが、これらは、ほんとうの意味で豊かだと思えますか。
- ⑧ 今後、家族だんらんの楽しい食卓が健在するためにはどうしたらよいと思えますか。

1に示した。この資料は、生徒達にとって最も身近なテーマである「食」を扱った班のものである。教材を制作するにあたり、生徒達はアンケート調査を行い、そのデータをパソコンでまとめた。さらに、文献より資料を集め、3枚のプリントをもとに発表した。資料1は、それらを抜粋しまとめたものである。発表後、このテーマは身近であるだけに、生徒間に論議をよんだ。

「食」の変遷
内食から外食、そして個食へ

日本の家庭での食事は、手作り料理を家族で食べる「内食」のスタイルが基本だった。そこに変化が生まれたのは、高度経済成長期を経て一九七〇年代に入っ

た頃で、いわゆるファミリレストランやファーストフード店が続々と誕生し始めた頃である。これにより「外食」が一般化し、女性の社会進出による家事の省力化や、外食のレジャー的要素も相まって、家計における外食費は大きく伸びてきた。そして八十年代になると、その傾向は一層進み、また、食品産業の技術発展も伴って、調理済みの食品が出回るようになる。この

ことは、家庭で家族が別々に食事をする「個食」といったスタイルへ、食形態を変化させてきている。こうした状況を見てみると、確かに質も量も豊かになった食生活ではあるが、特に子供達に見られる「個食」が「孤食」とも言われる現代、果たして本当の意味で豊かになったと言えるのだろうか…。

フォト95・8・15より

(表3) 生徒が制作したSTS教材の表題

<ul style="list-style-type: none"> ・今、日本のお父さんが危ない ・新しい治療に期待高まる(遺伝子治療) ・安全な水を求めて ・川が泣いている ・海ガメよ戻ってきて ・オゾンホール過去最大に ・温暖化を防ぐサンゴ礁 ・温暖化の進行 ・花粉症をもとから断て ・イナゴと農薬 ・コメの戦国時代 	<ul style="list-style-type: none"> ・白山山地と酸性雨 ・カキとブナ林 ・核実験強行 ・自然エネルギーの利活用 ・エネルギーを考えよう ・私達とゴミ ・どうしたらサイクル ・新技術は私達に何をもたらすか(PHS) ・個食と孤食 ・コンピュータと現代音楽
--	---

また、生徒が制作したSTS教材の表題は上の表3のようであった。

この表により、STS問題が様々な分野にわたることが理解されたと考えられる。